

白昼夢の果てに垂れ込めた朝

日本語テキスト：PV字幕より取得

長い長い時をさまよっていた。
私が生きる意味を取り戻すために。

ひと握りの砂の中にも……
空を裂く流星がまき散らした光の中にも。

君が見える。

だけど……
触れようとすると、消えてしまう。

最近はどんな夢を見るの？

君を……探し回る夢。

まださまよっているの？

うん。

つらくないの？

つらいよ。

それなのにどうして……立ち止まらないの？

君だって、同じことをしたはずだから。
私を……見つけ出してくれたはずだから。

でも、そこは夢の中でしょ。
どうやって私を見つけるつもりなの？

それは……

偽りの揺りかごの中で永遠に……

互いの夢を共有していた時代は終わった。

ひと握りの砂も、空を裂く流星も……
すべて無へと還るの。

私の意識と記憶は、データの海の中で消え去り……
今残っているのは、ただ君だけ。

夢の空間は空っぽになって、
私がいた場所には、虚しさだけが残るでしょう……

君が見ている私の姿は、すべて残像にすぎないの。

違う……！

私は君を永遠に覚えている！

君は私のいちばん大切な……友達だから……!!

いちばん大切な……友達？

う、うん！ もちろんだよ……！

それなのに、どうして……

私が消えるのを見過ごしたの？

な、何を言ってるの？

ただ普通に生きたかった私を……

君と一緒に夢を見たかっただけの私を……

ち、違う！ 私は君を……!!

イード！

どうして私を捨てたの？

違う!!

イード、イード、イード、イード、イード、イード、イード！

私は……私は……

イード！

きゃあああっ!!!

イ、イード？ どうしたの?!

ずっともがいていたから、起こしてみたんだけど……

悪い夢でも見たの？

あ……何でもないよ。大丈夫。

ただ……水を飲まなきゃ。

はあ……

え……？